

2024年度事業報告書

登録販売者の職能の向上に関する事項と、薬学の発展向上に関する事項

(定款第4条第1号)

1 登録販売者の資質向上のための自己点検事業

配付済みの自己点検表に基づき、店舗の管理状況、構造設備、医薬品のリスク分類別陳列等、毒薬、劇薬、毒物、劇物の管理取扱い等について自主監視を実施した。

2 薬事講習会

会員の薬事薬学の知識向上を図るため、実施した。

日 時 2024年10月11日(金)・12日(土)・13日(日)

会 場 赤羽会館

対 象 会員及びその他

演題及び講師

「最近の薬務行政」

東京都保健医療局健康安全部 薬務課

小川 亮 先生

「健康食品」

東京薬科大学薬学部 准教授

成井 浩二 先生

受講者数 66名

3 店舗販売業者講習会

都内の店舗販売業者を対象に、薬事法規、医薬品に関する知識、最新の医薬品情報等の知識を習得させ、医薬品の有効性と安全性の確保を図り、もって都民を医薬品による副作用から守ることを目的として、東京都保健医療局より受託し実施した。

2022年度(令和4年度)まではコロナによる影響でWeb方式で開催していたが、2023年度以降は都議会議事堂1階都民ホールにて開催した。

日 時 2024年12月4日(水)

午前の部 午前10時00分～午後1時00分

午後の部 午後2時00分～午後5時00分

会 場 都議会議事堂1階 都民ホール

対 象 都内の店舗販売業者 2904名

受講者数 187名(午前の部96名、午後の部91名)

演題及び講師

午前の部・午後の部共

「最近の薬務行政について」

東京都多摩府中保健所生活環境安全課薬事指導担当

主任 伊藤 弓奈 先生

「セルフメディケーション推進は、丁寧な顧客対応から」

東京薬科大学薬学部 一般用医薬品学教室 元教授 渡邊 謹三 先生

4 薬事・医事知識講習会

薬膳講習会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止

5 登録販売者外部研修会の実施

(第1回)

日 時 2024年4月14日(日)・19日(金)・5月18日(土)

各日2回開催 計6回開催

場 所 赤羽会館4階 大ホール

研修内容

「保険診療の法制度」

講師：東京医科大学名誉教授 医学博士 葦沢 龍人 先生

「ビタミン主薬製剤、ビタミン含有保健薬、薬用酒」

講師：東京薬科大学薬学部医療薬学科 准教授
一般用医薬品学教室 成井 浩二 先生

受講人数：集合研修 361名

通信研修(送付者)DVD259名 eラーニング172名 計 431名

総計 792名

(第2回)

日 時 2024年7月20日(土)・21日(日)・25日(木)

各日2回開催 計6回開催

場 所 赤羽会館4階 大ホール

研修内容

鎮咳去痰薬～主成分の比較と使い方～

鎮咳去痰薬～補助成分の比較と使い方～

講師：東京薬科大学薬学部医療薬学科
薬学推進センター 准教授 別生 伸太郎 先生

受講人数：集合研修 329名

通信研修(送付者)DVD303名 eラーニング161名 計 464名

総計 793名

(第3回)

日 時 2024年10月11日(金)・12日(土)・13日(日)

各日2回開催 計6回開催

場 所 赤羽会館 4 階 大ホール

研修内容

「最近の薬務行政・リスク区分が変更になった医薬品」

講師：東京都保健医療局健康安全部 薬務課

小川 亮 先生

「健康食品（保健機能食品・サプリメント）」

講師：東京薬科大学薬学部医療薬学科 准教授

一般用医薬品学教室

成井 浩二 先生

受講人数：集合研修 303名

通信研修（送付者）DVD 293名 eラーニング 162名 計 455名

総計 758名

（第4回）

日 時 2025年2月22日（土）・23日（日）、27日（木）

各日2回開催 計6回開催

場 所 赤羽会館 4 階 大ホール

研修内容

「点眼薬の種類と使い分け～薬効解説編～」

「点眼薬の種類と使い分け～症例問題編～」

講師：東京薬科大学薬学部医療薬学科

薬学推進センター

准教授

別生

伸太郎

先生

受講人数：集合研修 294名

通信研修（送付者）DVD 278名 eラーニング 158名 計 436名

総計 730名

薬事に関する講習会、講演会、研修会、研究会の開催（定款第4条第2号）

1 育成事業

登録販売者試験受験のための講習会

（1）2024年度登録販売者試験対策講習会

実施期間 実施せず

場 所

受講者数

講習科目 厚生労働省手引きによる科目

講 師 協会会長 後藤 雄次

（2）登録販売者模擬試験

実 施 日 開催せず

薬事情報の収集及び伝達（定款第4条第3号）

1 印刷物等の配布

- (1) 各講習会、研修会に係る印刷物を資料として配付した。
- (2) 第 1 類医薬品から第 2 類医薬品へのリスク区分の変更等を、F A X 及びハガキ並びにメールにより会員に緊急連絡した。
- (3) 厚生労働省・東京都保健医療局等からの会員への周知の徹底の連絡について、F A X 及びハガキ並びにメールにより会員に緊急連絡した。

薬事知識の普及啓発と薬物等の乱用防止に関する事項（定款第 4 条第 4 号）

1 薬と健康の週間の事業の実施

期 間 2024 年 10 月 16 日（水）～ 22 日（火）
各店舗にクスリと健康に関するリーフレット及び宣伝物を配布し、
薬の正しい使い方、保管等について広く都民に啓発活動を行った。

2 大衆薬普及キャンペーンの実施（薬と健康の週間中）

実 施 日 2024 年 10 月 18 日（金） 午前 10 時 30 分より
実施場所 JR 王子駅前
実施内容 「正しく知ろう薬の使い方、薬を正しく使う運動、麻薬、覚せい剤禍の撲滅」等のリーフレットを配布し、都民に対し薬の正しい使い方及び麻薬、覚せい剤禍の撲滅運動を行った。
配布部数 1000 部
参 加 者 池田・落合 両副会長、倉持 各理事、大川事務局長

3 一般用医薬品の正しい知識や使い方に関する普及啓発イベント

リアルと Web のハイブリッド開催

主 催 （公社）東京都医薬品登録販売者協会、（公社）東京薬事協会
（公社）東京生薬協会、
日本一般用医薬品連合会（日本 O T C 医薬品協会、日本家庭薬協会）
後 援 厚生労働省、東京都、千代田区、東京都医師会、東京都薬剤師会
協賛企業 O T C 製薬企業など 29 社（団体）
参 加 者 後藤会長・落合副会長・横田専務理事・佐野・重田・花澤・宮田
新野・倉持各理事・大川事務局長
実 施 日 2024 年 10 月 4 日（金） 12 時から 18 時
5 日（土） 10 時から 17 時
場 所 神田明神(文化交流館 EDOCCO)
来 賓 武見敬三前厚生労働大臣（ビデオ）、小池百合子東京都知事（ビデオ）、
高橋正夫東京都薬剤師会会長
来場者数 約 4,200 名
実施内容

目的 セルフメディケーションにおけるＯＴＣ医薬品の役割や、正しい知識・使い方などの普及啓発を図り、国民の保健衛生の維持向上に寄与すること。

【リアル開催】

東京都医師会会長の「セルフメディケーションとそれに果たすＯＴＣ医薬品の役割」と題したスペシャル講演

薬剤師・登録販売者に相談しながら、ＯＴＣ医薬品を上手に利用し、自らの判断でセルフメディケーションを行えるように、医薬品等のサンプルを配布・説明し、正しい薬の使い方等を周知。

一般用医薬品販売制度の改正に伴う小売店の薬の陳列方法をイメージした模擬店舗の開設と専門家による薬の相談体制のシミュレーションの実施。

一般用医薬品製薬企業等２８社のブースによる一般用医薬品等の展示と正しい使い方、お薬検索等の啓発の実施。

セルフメディケーションと家庭薬等各種啓発パンフレットの配布。

危険ドラッグのポスター及びパンフレットの配布。

健康チェック ほか

【Web 開催】

東京都医師会会長の「セルフメディケーションとそれに果たすＯＴＣ医薬品の役割」と題したスペシャル講演

薬剤師・登録販売者に相談しながら、ＯＴＣ医薬品を上手に利用し、自らの判断でセルフメディケーションを行えるよう、セルフメディケーション、薬剤師・登録販売者の役割等を映像やクイズ形式で周知。

一般用医薬品製薬企業等のプレゼント企画

訪問ユーザー数 動画視聴数 １，５０回

アクセス数 ３２，１７６回

以後は専用チャンネル内でアーカイブ視聴可能

４ 「６・２６国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集い

主 催 東京都、厚生労働省、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター、東京都薬物乱用対策推進本部、東京都薬物乱用防止推進協議会

共 催 豊島区、警視庁

開 催 日 ２０２４年６月２９日（土）

場 所 東京ドームシティ・ラクーアガーデンステージ

実施内容 ステージでは、警視庁音楽隊による演奏をはじめ、警察犬（薬物捜索犬）のデモンストレーションや啓発動画の放映を行い、薬物乱用の恐ろしさについて会場の参加者に訴えかけました。

また、展示会場では、中学生による薬物乱用防止ポスター・標語等のパネル展示や着ぐるみによる啓発活動を行い、多くの人に薬物乱用防止の

メッセージを発信することができました。

参 加 者 後藤会長・落合副会長

5 麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会

主 催 厚生労働省、東京都、東京都薬物乱用対策推進本部、東京都薬物乱用防止推進協議会

開 催 日 2024年11月17日(日)

場 所 東京都庁第一本庁舎5階 大会議場

目 的 麻薬、覚醒剤、大麻、シンナー、危険ドラッグ等の（以下、「麻薬・覚醒剤等」という。）の薬物乱用は、乱用者個人の健康上の問題にとどまらず、各種の犯罪の誘因など公共の福祉に計り知れない危害をもたらすものである。本運動は、麻薬・覚醒剤等の薬物乱用による危害を広く都民に周知させ、都民一人ひとりの認識を高めることにより、麻薬・覚醒剤等の薬物乱用の根絶を図ることを目的とする。

参 加 者 後藤会長、池田・落合両副会長、横田専務理事

機関紙の発行（定款第4条第5号）

1 機関紙の発行

会報「薬種」第282号～285号（4回発行）

会員、関係団体、都庁、保健所、医薬品メーカー、各都道府県協会及び希望者に対し、協会運営事項、官公署からの通知、薬事関係情報、学術関係記事その他を掲載した。

発行部数 約500部

その他本会の目的達成に必要な事項（定款第4条第6号）

管理運営事項

1 定例会その他

（1）通常総会

日 時 2024年5月21日（火）午前11時00分から午前11時20分

場 所 北とぴあ 808会議室

以下の議案が承認された。

2023度収支決算（案）

定款変更案

（2）理事会 5回開催

会務に関する事項を議決執行した。（会報の理事会報告参照）

各種表彰・慶弔
表彰

薬事関係功労者知事感謝状

■■■■■■■■■■

永年従事者

■■■■■■■■■■

■■■■■■■■■■

慶弔

●物故者

(本人) ■■■■■■■■■■

(本人) ■■■■■■■■■■

(本人) ■■■■■■■■■■

(本人) ■■■■■■■■■■

(本人) ■■■■■■■■■■

2024年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2025年5月

公益社団法人 東京都医薬品登録販売者協会